

## 公益社団法人 日本地震工学会 第8回理事会議事録

**A. 日 時**：2014年4月18日（金）17時00分から20時40分

**B. 場 所**：建築会館308会議室（東京都港区芝5-26-20）

**C. 出席者**：（会 長） 安田 進

（副 会 長） 当麻純一、山崎文雄、福和伸夫

（担当理事） 福喜多輝、新海 元、矢代晴実、和泉信之、松田 隆、年縄 巧  
久田嘉章、清野純史、古屋 治、鳥井信吾、田村敬一、塚本良道

（欠 席） 加藤研一、富田孝史、境 茂樹、横井俊明、五十嵐克哉

オブザーバー出席：鳴原 毅事務局長、吹野美絵

### D. 提出資料

資料 08-01 第7回理事会議事録（案）（新海理事）

資料 08-02 会務報告（福喜多理事）

資料 08-03 監事候補者の選出（福喜多理事・加藤理事）

資料 08-04 国際地震工学会事務局長の交代について（安田会長）

資料 08-05 入退会者（松田理事）

資料 08-06 共催・後援・協賛等（新海理事）

資料 08-07 表彰について（論文賞）（福和副会長）

資料 08-08 平成25年度事業報告（案）（福喜多理事）

資料 08-09 平成25年度決算（案）（矢代理事）

資料 08-10 次期理事会理事候補者の選出（福喜多理事）

資料 08-11 次期役員候補推薦委員会委員候補者の選出（福喜多理事）

資料 08-12 公益社団法人日本地震工学会第2回社員総会議事次第（福喜多理事）

資料 08-13 事業企画等の実施に関する申し合わせ（修正）について（福喜多理事）

資料 08-14 訃報および追悼文申し合わせ（案）（福喜多理事）

資料 08-15 スペシャルアドバイザー規程の修正（松田理事）

資料 08-16 会誌編集委員会からの報告（久田理事）

資料 08-17 論文集編集委員会からの報告（年縄理事）

資料 08-18 表彰規程改定

## **E. 議題**

### **E 1. 報告事項**

#### **1) 第 7 回理事会議事録（案）（新海理事、資料 08-01）**

「第 7 回理事会議事録（案）」について承認された。

#### **2) 会務報告（福喜多理事、資料 08-02）**

「会務報告（3 月 13 日～4 月 18 日）」の報告がなされた。

#### **3) 業務執行理事業務報告（会長、副会長、資料なし）**

会長、副会長より 12 月～3 月の業務について、理事会規則第 26 条および第 27 条職務権限規程に基づいて業務を適正に執行している旨が報告された。

「定款第 22 条 4 会長、副会長及び専務理事は、毎事業年度に 4 箇月を超える間隔で年に 2 回以上、自己の職務の執行の状況を、理事会に報告しなければならない。」

の定款による、平成 25 年 12 月 1 日から平成 26 年 3 月末日における、職務執行状況の報告を以下に受けた。

安田進会長：

業務執行理事の職務権限規程第 4 条における職務執行を行ったので報告する。

当麻純一副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

山崎文雄副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

福和伸夫副会長：

業務執行理事の職務権限規程第 5 条における職務執行を行ったので報告する。

以上の報告を受け了承された。

#### **4) 監事候補者の選出（福喜多理事・加藤理事、資料 08-03）**

田蔵監事のご逝去に伴う次期監事候補者（任期：平成 26 年 6 月 1 日～平成 27 年 5 月 31 日）として小林信之氏（青山学院大学）が選出されたとの報告がなされた。監事の選任は平成 25 年度社員総会の決議で選任される。

#### **5) 国際地震工学会事務局長の交代について（安田会長、資料 08-04）**

国際地震工学会の事務局長は平成 26 年 7 月に交代となるが、後任として現在 IAEE 事務局支援委員会の幹事である楠浩一（東京大学地震研究所准教授）氏となることが確認された。

## **E 2. 議 案**

### **第 1 号 入退会者（松田理事、資料 08-05）**

「入退会者」の報告がされ、2014 年 4 月 18 日現在、入会者は正会員 4 名、法人会員 1 社、退会者は正会員 20 名、学生会員 11 名、法人会員 3 社が承認された。

以上の結果、個人会員数は、名誉会員 28 名、正会員 1119 名、学生会員 149 名で、総数は個人会 1296 名、法人会員 93 社となることが確認された。

### **第 2 号 共催・後援・協賛等（新海理事、資料 08-06）**

共催（1 件）、後援（2 件）、協賛（1 件）が承認された。

共催：「理論応用力学講演会（第 63 回）」（主催：日本学術会議）

後援：「防犯防災総合展 in KANSAI 2014」（主催：防犯防災総合展実行委員会、テレビ大阪株式会社）

後援：「第 1 回「震災対策技術展」大阪」（主催：「震災対策技術展」大阪 実行委員会）

協賛：「日本保全学会「第 11 回学術講演会」」（主催：日本保全学会）

### **第 3 号 表彰について（論文賞）（福和副会長、資料 08-07）**

平成 25 年度日本地震工学会論文賞について、論文賞内規および論文賞選考委員会内規に基づき、論文賞選考委員会にて審議を行い、下記の 1 論文の著者を論文賞候補として推薦され、理事会にて承認された。

論文題目：「原子力サイトにおける 2011 東北地震津波の検証」

著者：杉野 英治，呉 長江，是永 真理子，根本 信，岩淵 洋子，蛭沢 勝三

また、論文賞の対象業績を「表彰年の前年の 12 月 31 日から 2 年前までの期間」を「表彰年の前年の 10 月 31 日から 2 年前までの期間」に変更することが確認された。

### **第 4 号 平成 25 年度事業報告（案）（福喜多理事、資料 08-08）**

「平成 25 年度事業報告（案）」について報告され、一部修正の上、承認された。

### **第 5 号 平成 25 年度決算（案）（矢代理事、資料 08-09）**

「平成 25 年度決算（案）」について説明があり、承認された。

現時点で学会の繰越金がほとんどない状況であること、また健全な学会運営のために収入増加等により繰越金を増やすことが必要なことを、第 2 回総会にて分かりやすくパワーポイントを使い説明することが確認された。

### **第 6 号 次期理事会理事候補者の選出（福喜多理事、資料 08-10）**

平成 26 年度理事について、任期満了により退任する副会長 1 名、理事 7 名の後任候補者が承認された。

**第 7 号 次期役員候補推薦委員会委員候補者の選出（福喜多理事、資料 08-11）**

次期役員候補推薦委員会委員候補者として新任委員の 5 名を含む 10 名について報告され、承認された。

**第 8 号 公益社団法人日本地震工学会第 2 回社員総会議事次第（福喜多理事、資料 08-12）**

第 2 回社員総会議事次第について報告され、開催時間の変更 13:30⇒14:00、正会員の記載、所属先は削除、呼称の統一、基調講演⇒特別講演に変更することが確認され承認された。

**第 9 号 事業企画等の実施に関する申し合わせ（修正）について（福喜多理事、資料 08-13）**

事業企画等の実施に関し、予算については事業等の開催による収入の 20%を諸経費（管理費）として計上することが承認された。具体的な運用方法については随時相談しながら進め、実質的に有効な制度となるように改善もしていく。

**第 10 号 訃報および追悼文申し合わせ（案）（福喜多理事、資料 08-14）**

「訃報および追悼文申し合わせ（案）」について報告され、以下の内容が承認された。

- ・ 訃報については正会員、名誉会員については名前のみを会誌 6 月号に 1 年分を掲載する。
- ・ JAEE News への訃報掲載および会誌 News Letter への追悼文の掲載については、リクエストがあった場合に会長が最終判断して掲載可否を確定させる。

**第 11 号 スペシャルアドバイザー規程の修正（松田理事、資料 08-15）**

「スペシャルアドバイザー規程の修正」について報告され、以下の内容が承認された。

- ・ スペシャルアドバイザーの任期は申請年度を含め、3 年を限度とする。  
なおスペシャルアドバイザーの活動の場として以下の内容を実施することが確認された。
- ・ スペシャルアドバイザーに東京都防災展での説明をお願いする。
- ・ 高校の先生から大学に各種講演依頼があることを鑑み、東京都教育委員会（教育庁）へスペシャルアドバイザー制度の周知について働きかけを行う。

**第 12 号 表彰規程改定（資料 08-18）**

論文賞の対象業績を「表彰年の前年の 12 月 31 日から 2 年前までの期間」を「表彰年の前年の 10 月 31 日から 2 年前までの期間」に変更したと併せて、論文奨励賞の内規・細則も同様に修正することが確認された。

### E 3. 懇談事項

#### 6) 会誌編集委員会からの報告（久田理事、資料 08-16）

会誌編集委員会からの会誌 22 号(2014 年 6 月号)について、以下の進捗報告がされた。

- ・追悼文として「田蔵隆監事のご逝去を悼む」を若松加寿江先生（関東学院大学）に執筆頂く。
- ・ JST が準備中の「JST 文献検索システム」のサイトを会誌で周知する。

なお、上記 JST システムの利活用について今後理事会にて議論していくこと、第 2 回総会の記事は総会の議事録担当の横井理事、塚本理事が担当することが確認された。

#### 10) 論文集編集委員会からの報告（年縄理事、資料 08-17）

論文集編集委員会から前回理事会以降の進捗報告がなされた。

清野理事から、第 2 回国際シンポジウムの優秀論文発表賞に選出された著者に対して、英文論文集に投稿するように依頼を行うことが確認された。

#### 11) 東日本大震災合同調査報告書作成委員会との連携について（福喜多理事、資料なし）

東日本大震災合同調査報告の共通、原子力、地盤の 3 編を併せて講習会を開催することとなり、本講習会の取り纏め役を日本地震工学会が受け持つことになった。

講習会のプログラム、及び収支計画書は、報告書作成委員会が作成するが、報告書委員会に本会の理事メンバーが入っていないので、事業企画委員会の鳥井理事、境理事に報告書委員会との橋渡し役（主な役割は理事会での報告）をお願いすることが確認された。

次回予定：日時：平成 26 年 5 月 12 日(月) 17：00 より

場所：建築会館 308 会議室

記録担当：総務理事 新海 元